

出席停止の連絡

下記の感染症は、学校保健安全法第19条により出席停止となります。治癒し、医師から登校の許可が出ましたら、下記の用紙を提出してください。

	感染症名	出席停止期間
第一種	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱、急性灰白髄炎、ジフテリア	治癒するまで
	重症急性呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属SARSコロナウイルスであるものに限る。)	
	中東呼吸器症候群 (病原体がベータコロナウイルス属MERSコロナウイルスであるものに限る。)	
	特定鳥インフルエンザ (感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(平成十年法律第百十四号)第六条第三項第六号に規定する特定鳥インフルエンザをいう。)	
第二種	第二種の感染症(結核及び髄膜炎菌性髄膜炎を除く。)にかかった者については、次の期間。ただし、病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるときは、この限りでない。	
	インフルエンザ(特定鳥インフルエンザを除く。)	発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで。
	新型コロナウイルス	発症した後5日を経過し、かつ、軽快した後1日を経過するまで。
	百日咳	特有の咳が消失するまで、または5日間の適正な抗菌性物質製剤による治療が終了するまで。
	麻疹	解熱した後3日を経過するまで。
	流行性耳下腺炎	耳下腺、顎下腺または舌下腺の腫脹が発現した後5日を経過し、かつ、全身状態が良好になるまで。
	風しん	発しんが消失するまで。
	水痘	すべての発しんが痂皮化するまで。
	咽頭結膜熱	主要症状が消退した後2日を経過するまで。
第三種	結核及び髄膜炎菌性髄膜炎	
	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス、流行性角結膜炎、急性出血性結膜炎、その他の感染症	症状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めるまで。

-----きりとり-----

学校感染症の届及び登校許可書

帝京大学中学校・高等学校
校長 市川 伸一 殿

高校教頭	中学教頭	教務主任	学年主任	担任

年 月 日

1. 病名	
2. 加療期間	年 月 日 (曜日) ~ 年 月 日 (曜日) まで
中・高 年 組 番 生徒名	保護者名
上記の生徒は上記1, 2のとおり加療しましたが、治癒したので登校しても差し支えないことを証明します。	
年 月 日	
病院名	印